(3) 教科研究との関わり（指導観）

① 生活や社会の中から問題を見だし、解決する題材デザイン

新学習指導要領では、生活の営みに係る見方・考え方について、「家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること」としている。

本題材では、幼児とよりよく関わるために、幼児の心身の発達等について調べ、粘り強く観察したり、ゲストティーチャーからのアドバイスをもとに、うまくいかなかったことなどを振り返って関わり方を改善するなど、自らの学習を調整しながら学習に向かう「主体性」を育めるようにした。また、仲間と意見交流しながらよりよい関わり方等のアイデアを出し合い、幼稚園実習を計画して実践し、評価・改善していく学習活動を通して、お互いに協働し合う「協調性」を育成していく。さらに、幼児に関する既存の概念や幼児の心身の発達の特徴や生活習慣などについて学んだ知識を関連付けながら、幼児とよりよく関わるために本当に必要なことは何なのか考え、幼児の年齢差や個人差などの相手意識を持ちながら問題解決していく「思考力」を育成していきたい。

② 思考を広げ、深める ICT 活用

幼児の写真や動画等を自由に見られることができるようにすることで、幼児の心身の発達の特徴や生活習慣についてより明確にイメージを持つことができる。そこから幼児との関わり方について課題解決する際に役立てることができる。ロールプレイングの様子をタブレットに録画することで、生徒は自分たちの関わり方を見返しながらか改善へ役立てることができる。題材全体を通して、生徒は必要なときに必要な情報を取捨選択し、学習に活用していく。

また、グループ活動や交流会等の協働で意見を整理する場面において、学習支援サービスを活用することで、それぞれの計画に対するアドバイスを、タブレット端末内で自由に付箋に書き込み、お互いに送り合いながら、他者からの意見を生かして計画を練り上げることができる。また、必要に応じて参考にしてほしい内容を瞬時に全体で共有することができる。さらに、幼児との触れ合い実習の様子をタブレット端末で保存し、活動を振り返ったり改善したりする際に活用していく。

③ 指導と評価の一体化

1) 「評価能力・問題解決能力」という「思考・判断・表現」の観点の評価

「思考・判断・表現」の観点は、題材の中に4つの評価項目を設定した。幼児との関わり方を工夫するにあたって、幼児の年齢差や個人差、興味関心等の視点を考慮して、触れ合い実習計画を検討し、実践後にはリーダーチャートを用いて評価していく。生活の営みに係る見方・考え方を働かせて問題解決にあたることができたかについて、ワークシートやペーパーテストで問うことで、各個人が実践内容を評価する力をみとっていく。

2) 「問題を解決していこうとする態度」という「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価

「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、題材の中に3つの評価項目を設定した。①課題の解決に主体的に取り組もうとする姿（粘り強さ）、②試行錯誤を繰り返し学習を振り返って改善しようとする姿（自らの学習を調整）、③生活を工夫し創造し、実践しようとしている姿（実践しようとする態度）をワークシートやOPPシート等を用いて題材全体を通して評価する。

3 題材計画

(1) 題材の目標

【知識及び技能】

- ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。
- ・幼児の心身の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解する。
- ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・幼児との関わり方について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に評価するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現へ向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域で実践しようとする。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。・幼児の心身の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	幼児との関わり方について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に評価するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現へ向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域で実践しようとしている。

(3) 指導と評価の計画

	学習活動 (★…ICT活用)	評価規準・評価方法			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	問題発見 ・自分の成長を振り返り、幼児期へ関心を持つ。(映像教材, 自分の幼児期を想起する) ・幼児に関するアンケート実施 (★ワードクラウド活用)		① 幼児との関わり方, 幼児の心身の発達の特徴や生活習慣等の中から, 問題を見いだして課題を設定している。【ワークシート】	① 幼児の生活と家族について, 課題の解決に主体的に取り組もうとしている。【ワークシート, OPPシート, 行動観察】	
2	課題設定 ・幼児自身, 家庭の中の幼児, 地域の中の幼児それぞれにおける課題点を挙げる。(★iPad活用: 過去の幼稚園訪問実習の写真や附中ランドの動画, ネット検索機能を活用)				
3	必要な学び ・幼児の体の特徴, 運動機能の発達の特徴を理解する。(★動画教材)	① 幼児の体の発達と生活の特徴について理解している。 【ワークシート】			
4	必要な学び ・幼児の心の発達の特徴について理解する。(★動画教材)	② 幼児の心の発達と生活の特徴について理解している。 【ワークシート】			
5	必要な学び ・幼児の生活習慣の特徴や子供が育つ環境としての家族の役割, 遊びの意義等について理解する。(★動画教材)	③ 幼児の生活習慣, 子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 【ワークシート】			
6 (本時) ・ 7	関わり方の工夫 ・ロールプレイングを通して, 幼児や中学生の気持ちを実感する。全体交流やゲストティーチャー(幼稚園教諭)のアドバイスをもとに, よりよいかかわり方へ工夫する。(★オンライン, 録画機能) ・幼稚園訪問実習計画		② 幼児との関わり方について, 幼児の心身の特徴や年齢による発達の違い等の視点を考慮し, 幼児への言葉がけや行動の面から改善している。【ワークシート, 行動観察】		
8	実践(幼稚園訪問実習) ・幼稚園での幼児の観察や幼児との遊びの中での関わりを通して, 幼児との関わり方を工夫することができる。(幼児の年齢による違い, 生活の様子等を観察したり, サッカーや砂場遊びなど幼児と遊んだりする。)		④ 幼児との関わり方についての課題解決に向けた一連の活動について, 考察したことを論理的に表現している。【ワークシート, 行動観察】		
9	評価・改善 ・実践をしてみて, 改善できるところを考える。年齢, 発達段階, 個人差等を評価する。(★訪問実習の写真や動画)		③ 幼児との関わり方について, 実践を評価したり, 改善したりしている。【ワークシート】		
10	学びの自覚化 ・自分と幼児のこれからの関わり方について考える。 ・実際に子育てをしている親の話を聞く。(★動画教材)				③ よりよい生活の実現へ向けて, 幼児との関わり方について工夫し創造し, 実践しようとしている。 【実習報告書, OPPシート, 行動観察】

4 本時について

(1) 主題

幼児との関わり方を考えよう

(2) 指導目標

触れ合い実習へ向けての幼児との関わり方について考え、工夫している。

(3) 評価規準

【思考・判断・表現】

幼児との関わり方について、幼児の心身の特徴や年齢による発達の違い等の視点を考慮し、幼児への言葉かけや行動の面から改善している。

【主体的に学習に取り組む態度】

幼児との関わり方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。

(4) 授業構想

生徒は前時までには、課題解決のために必要な幼児の心身の発達の特徴や生活習慣についての基礎知識を学んできた。本時は、幼児と実際に関わる場面を想定し、よりよい関わり方について工夫していく。全体での意見交流や、幼稚園の先生からのアドバイスをふまえて、幼児への「言葉掛け」や「行動」に着目させていく。ロールプレイングを通して、幼児の気持ちになることの大切さを実感し、幼児が安心して関わられるよう改善していく。具体的な対応だけでは解決できないような、幼児の見えない心の中を理解しようとする努力の大切さにも気付かせたい。関わる対象は幼児であるという相手意識を持たせながら、子供を育てる環境の一人として主体的に学習に向かわせていく。

(5) 本時の展開

段階	学習内容および学習活動 ・予想される生徒の反応等	指導上の留意点および評価 ・指導の留意点 ○評価
導入 5分	1. 学習内容を確認する ・前時までの振り返りをする。 幼児の心身の発達の特徴、生活習慣、家族の役割等 2. 学習課題を設定する。 ・幼稚園訪問に行くにあたって、不安なことや心配なことを共有する。 ・「幼児が泣いている場面」提示 こんなとき、どうかかわる？ ・幼稚園訪問実習へ向けて、実際に幼児とどのように関わったらよいか考える必要感を持たせる。	・3分前学習で、幼児の特徴について振り返る。 ・さまざまな関わり方が挙げられた上で、生徒の中から本時で学ぶべき内容を引き出させる。
【学習課題】 こんな場面、どのようにかわる？なぜそうするの？		
展開 40分	3. 幼児との関わり方を考える (4人×3グループ) ごとに場面設定 ① 年少の男の子。物を取り合いしている場面 ② 年中さん。中学生が取り合いになる場面 ③ 年長の男の子。一人でいる場面 【個人で考える】 ・けんかをやめさせる。取り合いになった理由を聞く。 ・順番に遊ぶ。みんなで一緒にできる遊び提案する。 ・みんなが集まっているところに連れていく。 【グループ活動】 ・意見交流、ロールプレイング(※役割を順番に回す) ・代表3グループ発表、全体で意見交流 ★幼稚園の先生からアドバイス 4. 幼児との関わり方を改善する ・「言葉かけ」幼児の年齢による発達の違いに着目しながら ・「行動」目線、笑顔、幼児を受け入れる姿勢、幼児の気持ちを考える 《改善案》 ・年少さんでもわかるような言葉で丁寧に話しかけてあげる。 ・幼児が安心できるように幼児と同じ目線になって話す。 ・「どうしたの?」「そうなんだね」など、幼児の気持ちに寄り添ってあげられるように声を掛ける。 ★幼稚園の先生からの言葉	・過去の幼稚園訪問実習や附中ランドの実践から、実際に想定される場面で関わり方を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ○幼児との関わり方について、幼児の心身の特徴や年齢による発達の違い等の視点を考慮し、幼児への言葉かけや行動の面から改善している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート、行動観察) ※既習事項を活用して問題解決を図っている姿を評価 </div>
終結 5分	5. 本時を振り返る(OPPシート) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><u>生徒の振り返り(記述例)</u></p> <p>今日の学習では幼児とのかかわり方について考えた。最初は、みんなが集まっている場所に連れていけばいいと思っていたが、まずは幼児がどんな気持ちなのかを考えること、安心して関わってもらえるように同じ目線になって笑顔で話しかけるなどの工夫をすることが大切だとわかった。幼稚園訪問実習でも生かせるように頑張りたい。</p> </div> 6. 次時の見通しを持つ 次回は、幼稚園訪問実習の事前準備学習	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ○幼児との関わり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (OPPシート、行動観察) ※意見交流をもとに、よりよいものにしようとしたり、最後まで課題解決に向かう姿を評価 </div>